

林業福島

No. **588**

題字 福島県知事 佐藤 雄平



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

8

2013

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■カブト虫の気分



地域の林業発展に貢献する 国有林野事業

福島森林管理署長
富 永 茂

国有林野事業は、今年度スタートと同時に歴史的な大転換を果たしました。組織と事業の全てを一般会計化したのです。昭和二二年の林政統一以来、国有林野事業は企業特別会計の下で管理経営を行い、地域の中で様々な役割を果たしてきました。しかしその道のりは平坦ではありませんでした。昭和五三年には国有林野事業を取り巻く厳しい状況から、経営改善に着手し、組織の統廃合等を行いつつ管理経営の改善に努めてきました。また平成十年には、木材価格の低迷などにより多額の累積債務を計上したことなどから抜本的な改革を行い、管理経営の重点を木材生産から森林の公益的機能の維持増進に大きく転換するとともに、一般会計からの繰り入れを前提とした特別会計に移行しました。そして今年四月よりすべて一般会計に移行することになったのです。

一般会計化後の国有林野事業は、「国民の森林」として民有林施策と連携して様々な取り組みをしていくこととしています。中でも、森林・林業再生への貢献は、一般会計化後に求められる特に大きな役割の一つです。例えば、民有林と連携することにより、民国双方の事業の効率化が図られる区域について、相互に連結した路網の整備や計画的な間伐等の実施を行う森林施業団地の設定に取り組むとともに、国有林をフィールドに低コスト化に向けた技術開発等に取り組めます。さらに間伐や道づくりの技術、販売手法など企業会計で培ったノウハウを民有林に還元することも重要です。このように、国有林が有する組織力・技術力そして森林資源を民有林を含めた地域林業全体の発展に活かしていく必要があると考えています。

福島県の全人工林面積は全国八位、スギ人工林面積では五位と全国有数の資源量を有しており、そのポテンシャルは極めて大きなものがあります。しかし東電原発事故による放射能汚染は福島県の林業・林産業に大きな打撃を与え続けています。これ乗り越えない限り福島県の林業・林産業の未来はないと言っても過言ではないでしょう。

県は、今年から、ふくしま森林再生事業に取り組んでいます。この事業は福島県の林業・林産業の未来を創る事業だと思えます。国有林としてもこの事業を積極的に支援し、民有林とともに未来の福島県の森林・林業の発展に貢献していきたいと考えています。そのことが一般会計化した意義でもあると考えてます。

《も く じ》

とびら	
地域の林業発展に貢献する国有林野事業 福島森林管理署長 富 永 茂	1
林道飯豊檜枝岐線・一の木線開通	2
「ごちそう ふくしま満喫フェア」開催について	3
林業労働力確保支援センターだより	4
第39回 福島県緑の少年団大会	5～6
野生きのこの採取・出荷についてご注意ください!!!	7
普及指導員通信	8
森連だより	9
福島水源林整備事務所だより	10
木連だより	11
木材市況・ふくしま東西南北	12
はなしのひろば	13

林道飯豊檜枝岐線・一の木線の

一の木線開通

森林整備課

○ 林道飯豊檜枝岐線・一の木線の開通式について

喜多方市山都町と山形県飯豊町を結ぶ林道飯豊檜枝岐線・一の木線が開通し、平成二五年六月十五日(土)に安全祈願祭と開通式が行われました。

当路線は総延長一三・八キロメートル、幅員七・〇メートルの二車線の幹線林道で、飯豊トンネル内の県境から、福島県側の一の木線が五・七キロメートル、山形県側の飯豊檜枝岐線が八・一キロメートルになります。

飯豊トンネルの山形県側入口で行われた開通式では、開通記念事業実

行委員会長の山口信也喜多方市長があいさつし、佐藤雄平知事が祝辞を述べ、テープカットとくす玉割りを行い、開通を祝いました。

また、開通式に先立ち、喜多方市と山形県飯豊町の災害時相互応援協定調印式が行われ、山口信也市長、後藤幸平町長が協定書を交わし、地震などの災害発生時に物資・資機材の提供、被害者の救出、職員派遣などで相互に協力することとなりました。

○ 一の木線の概要

林道飯豊檜枝岐線・一の木線は、山形県飯豊町と福島県喜多方市山都

町を連絡する重要な路線で、幅員七・〇メートル(二車線)、延長一三・八キロメートルの幹線林道です。

当路線は、林業を中心とした地域開発の推進や、山地交通のネットワークを形成するため、大規模林業圏開発林道事業により昭和五三年度に山形県側(飯豊町)から工事に着手し、平成十一年度に八・一キロメートルが完了しました。

福島県側(喜多方市山都町)については、大規模林業圏開発林道事業により平成五年度に着工、平成二二年度に五・三キロメートルが完了し、残る〇・四キロメートルについては、福島県が山のまち地域づくり交付金事業で平成二一年度から施工し、平成二四年度に喜多方市山都町川入地区から同トンネルまでの五・七キロメートル区間が完成しました。

○ 林道整備の効果等

林道飯豊檜枝岐線・一の木線は着工から三五年の歳月をかけて開通し、福島県・山形県の森林・林業の振興はもとより、災害時のライフラインの確保、両県集落間のアクセス時間短縮による交流人口の拡大など、人・文化・経済面の交流も生まれ一層の地域振興が図られるものと期待されます。

工事概要

1 施工区域

起点：山形県西置賜郡飯豊町大字岩倉字天屋沢地内
終点：福島県喜多方市山都町大字一ノ木字中小屋地内

2 延長

13,856.3m (約13.8km)
山形県側：8,112.2m (約8.1km)
福島県側：5,744.1m (約5.7km)

3 規格構造

幅員 7.0m 最小曲線半径 20m

4 標高

起点：465m、最高点：828m、終点：462m

5 工事期間

昭和53年度～平成24年度 (35ヶ年)
山形県側：昭和53年度～平成11年度 (22ヶ年)
福島県側：平成5年度～平成24年度 (20ヶ年)

6 事業費

約105億2千1百万円
山形県側：47億5百万円
福島県側：58億1千6百万円

7 主要構造物

○トンネル	1箇所	全長	878.1m
	山形県側		466.2m
	福島県側		411.9m
○橋梁	12箇所		488.5m
	山形県側		85.4m
	福島県側		403.1m

8 受益状況

受益地面積：2,672ha (国有林含む。)
山形県側：1,042ha (国有林含む。)
福島県側：1,630ha (国有林含む。)



開通式の様子

○平成二五年七月十八日発生豪雨 災について

林道飯豊檜枝岐線・一の木線については、平成二五年六月十五日に全線開通したところですが、七月十七日から十八日にかけての集中豪雨により喜多方市において被害があり、林道一の木線及びその下方道路である林道川入線についても被災し、一時川入集落が孤立する状態となりました。

林道飯豊檜枝岐線・一の木線については、福島県側のみならず山形県側でものり面崩落等の被害が発生していましたが、飯豊町の速やかな対応により排土等がなされ、十八日夕方には山形県側から川入集落への車両通行が可能となりました。



一の木線（護岸ブロックが被災した状況）

川入線は通行不能となっているため、一の木線が開通していなければ、川入集落が完全に孤立し、飯豊山登山客も帰還できなくなる可能性もあったため、この六月十五日に全線開通したことは、まさに災害時の迂回路、ライフラインの確保のためにも大変有意義なものとなりました。

川入線の本復旧は、災害査定終了後に実施することとなりますが、早期の復旧を目指し、県としても引き続き支援を行ってまいります。



川入線（路体崩落の状況）

「ごちそうふくしま満喫フェア」開催について

福島県の農林水産物及び六次化商品などの「食の魅力」を、県内をはじめ全国へ発信する「ごちそうふくしま満喫フェア二〇一三年」を、平成二五年十月五日（土）～六日（日）の二日間、JRA福島競馬場（福島市）で開催します（主催 ふくしま・地域産業六次化推進協議会、福島県）。

今年で、四回目の開催を迎え、食品産業界関係事業者約一五〇ブースが出席する、県内最大級の食の祭典イベントです。

福島餃子や喜多方ラーメン、会津カレー焼きそば、なみえ焼そば、いわきのジャンボカジキメンチ等の御当地グルメ、「日本一の酒処 福島県」を代表する日本酒や、県内各地の特産品、イチ押し商品などが大集合。

また、「それいけ！アンパンマンショー」のほか、著名ゲストによるトークやライブなど、お子様から大人まで楽しめるステージイベントも開催します。

食欲の秋、個性豊かな「ふくしまの食」をたっぷり満喫できる二日間です。皆様、ぜひ御来場ください！

お問い合わせ 福島県農産物流通課
電話 〇二四一五二一七三七

林業労働力確保支援センターだより

福島県林業労働力確保支援センターが実施する研修会等について



緑の雇用 チェーンソーによる伐倒作業

福島県林業労働力確保支援センター（以下、支援センター）では、県内林業の持続的かつ健全な発展のため、林業事業者の経営基盤の強化・林業の担い手の確保・育成等をめざし各種事業を実施しています。ここでは、平成二五年度に実施する研修会等について紹介します。

（一）「緑の雇用」現場技能者育成対策事業

利用期を迎えた人工林資源を有効活用し、国産材の安定供給につなげていくためには、施業の集約化と路網の整備、高性能林業機械を活用した効率的な作業システムの導入と、専門的かつ高度な知識・技術・技能等を有し、間伐等の森林整備を効率的に行える現場技能者を確保・育成することが必要です。

このため、支援センターでは、全国森林組合連合会から『緑の雇用』

現場技能者育成対策事業」を受託し、林業事業者の新規就業者を対象として三年間を通じて体系的に技能の習得が図られるよう全国統一のカリキュラムにより、集合研修と実地研修を実施します。

① 集合研修

新規就業者等（一年生～三年生）に対し、林業の基本的な知識・技術技能等を習得させるための座学及び実習等による研修を六月～十一月にかけて、支援センターが指定する場所に集合していただき、七五日間実施します。

なお、三年間研修を修了した研修生は、平成二六年度林野庁発行の研修修了者名簿に登録される予定になっています。

② 実地研修

集合研修の内容を踏まえ、各事業体の実際の作業現場において、知識・技能等の習熟を図る実地（OJ

T）研修（二年目・上限十ヶ月 一八〇日、二年目・上限八ヶ月 一四〇日、三年目・上限八ヶ月 一四〇日）の研修を県内の四一事業体で実施します。

（二）高性能林業機械実践研修会

平成二二年から二四年の四カ年間で計九一台の高性能林業機械の貸付を実施し、その結果、県内での林業機械の導入数は飛躍的に伸びています。これに伴い、効率的な運行・安全な操作が求められていることから、八月に、猪苗代町若宮の公社造林地において、機械の保守・点検、安全操作、さらに最新型機械による伐倒、造林、搬出、集積と現場における機械操作を含めた研修会を実施します。

（三）低コスト作業路開設研修

丈夫で低コストの森林作業道づくりに取り組もうとしている林業事業体に勤務する者を対象に、森林作業道づくりに必要な知識と、基本的な施工技術の習得を目的とする研修を、一般社団法人フォレスト・サーベイとの共催で三回、それぞれ四日間の日程で座学と実技を実施します。

（四）異業種参入促進事業

林業への参入を希望する異業種団体（建設業者等）の作業員に対して、森林・林業の知識や技能を習得させ、林業への参入機会を促進する目的で八月と十月に研修を実施します。森林除染業務を実施する上で、刈払機安全衛生教育・チェーンソー特

別教育の受講は必須条件となっており研修実施の要望が多いことから、森林・林業の知識の講義と合わせて前記特別教育等を実施します。

（五）林業就業支援講習

一月～二月に二〇日間の日程で実施する予定で募集定員は十名です。講習の内容は、「刈払機作業従事者安全教育」・「伐木の業務に係る特別教育」・「小型車両系建設機械運転業務特別教育」・「救急法基礎講習」

「森林・林業の知識」等となります。また、

（六）雇用管理セミナー

林業事業者の経営の安定や雇用管理の改善を図るため、事業主及び雇用管理者等を対象として、十二月に実施します。

（七）先進事例見学会

事業主及び雇用管理者等を対象として、県外の雇用管理に関する先進事例の見学会を十一月に予定しています。

（八）森林・林業人材育成加速化事業

造林作業等で経験を積んでいる者等に、素材生産作業を行うために必要な安全講習等を受講させようとする林業事業者を対象とした講習等の実施、及び受講に必要な経費を助成します。

以上の研修を実施しますので、林業事業者・森林組合の皆様にご参加いただきますようお願い致します。

第39回 2013 福島県緑の少年団大会

福島県森林・林業・緑化協会（福島県緑化推進委員会）

平成二五年七月二四日（水）、猪苗代町にある国立磐梯青少年交流の家において、「第三九回福島県緑の少年団大会」を開催しました。



全体集合写真



発表の様子



表彰の様子

福島県緑の少年団育成協議会、（公社）福島県森林・林業・緑化協会の主催、福島県、福島県教育委員会、関東森林管理局、猪苗代町の後援により、緑の少年団は九団体、二〇五名の児童、先生、保護者の皆さんが参加し（全体で約二六〇名）、盛大に開催しました。

式典は、福島県緑の少年団育成協議会の齋藤卓夫会長の開会の挨拶に続き、村田文雄副知事、須藤徳之関東森林管理局長、前後公猪苗代町長の三名の方より来賓祝辞をいただきました。

午前中の式典は講堂で行い、昼食をはさんで、午後は体験交流活動を第六研修室、多目的室、コミュニケーションルーム1・2に分かれて実施しました。

表彰式は、五月に行われた活動発表大会で各賞に選ばれた少年団五団体を表彰しました。

受賞団体名は別表のとおりです。

発表では、少年団の代表（団長、副団長等）がこの一年間、地域の方々と交流を深めながら活動に取り組んだこと等、それぞれの少年団が独自の工夫をしながら取り組んできた学習活動、奉仕活動、レクリエーション活動について写真パネルの紹介を交えて、発表しました。

「全国緑の少年団活動発表大会」に推薦した県知事賞の会津若松市立川南小学校「ホタルの里」緑の少年団が、全国大会での発表団体（全五団体）に選ばれました。

全国大会は、十一月十七日（日）に彩の国くまがやドーム（埼玉県熊谷市）で開催されます。

午後の体験交流活動は、あいにくの雨で当初予定していた昭和の森の散策ができませんでしたが、各少年団の班が四つの班ずつ混合された、全十二（A～L）のグループを三つの施設（四グループ×三）に分けて、木工クラフトを行いました。



県知事賞を受賞した川南小学校「ホタルの里」緑の少年団



木工クラフトの様子



交流活動でのグループ記念写真



しかし、子どもたちの成長を促すためにも、少しでも「緑・自然」にふれあう機会をこれまで以上に提供していかなければなりません。

（別表）

福島県知事賞	会津若松市立川南小学校「ホタルの里」緑の少年団
福島県教育委員会教育長賞	会津若松市立川南小学校
矢祭山みどりの少年団	矢祭町立内川小学校
関東森林管理局長賞	小野町立飯豊小学校
飯豊小学校緑の少年団	
福島県緑の少年団育成協議会長賞	
会津若松市立大戸小学校緑の少年団	会津若松市立大戸小学校
奨励賞	会津若松市立謹教小学校
会津若松市立謹教小学校緑の少年団	石川町立中谷第一小学校
中みどりの少年団	

参加した児童たちは皆、普段あまりなじみのない木や道具に触れ、最初は戸惑いつつも徐々に「もの」を作る・創造する喜びを肌で感じ、それを皆と共有することで他校の児童たちと、より交流を深めることができたと思います。

木工クラフトで作った自慢の作品と一緒に撮影したグループの記念写真や、大会の最後に撮影した全体の記念写真でも、多くの笑顔が見られました。

震災、原発事故から二年が経過しても、緑の少年団の活動をはじめ、福島県内の「緑・自然」にふれあう活動は依然として厳しい状況であることは変わりありません。

「野生きのこの採取・出荷についてご注意ください!!!」

林業振興課

野生きのこのシーズンを迎えようとしております。

福島県におきましては、平成23年度から、野生きのこの放射性物質のモニタリング検査を行っており、その結果、多くの市町村において国の基準値を超える放射性セシウムが検出され、以下の市町村で採取された野生きのこの摂取及び出荷が制限されています。

【摂取及び出荷が制限されている市町村】

摂取制限：いわき市、南相馬市及び棚倉町の3市町

出荷制限：中通り（29市町村）、浜通り（13市町村）の全市町村

会津（6市町村：喜多方市、猪苗代町、会津坂下町、磐梯町、北塩原村、昭和村）

合計48市町村

今年度も、野生きのこについて、採取が本格化する前の早い時期にモニタリング検査を実施し、その結果を皆様にお知らせしていくこととしております。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、野生きのこを採取する際には以下の点にご注意ください。

- 食品中の放射性セシウム基準値100Bq/kgを超えるものは、出荷や流通の自粛をお願いします。
- 野生きのこの発生情報がありましたら最寄りの農林事務所・市町村へお知らせいただくとともに、モニタリングにご協力をお願いします。
- モニタリング結果は新聞や福島県ホームページなどで公開されています。
- 自家消費用の野生きのこについては、各市町村で放射性物質の検査を行っていますので、お問い合わせ下さい。
- 出荷が制限されている市町村で採取された野生きのこについては、自家消費についても控えていただきますようお願いいたします。

野生きのこ出荷制限位置図

(平成25年8月9日現在 48市町村)



【毒きのこにもご注意ください!!!】

県内では毎年数件程度、毒きのこによる食中毒が発生しています。疑わしい、知らないきのこは採らない・食べない・人にあげないを守り、食中毒の予防に努めましょう。判断に迷う場合は、県農林事務所森林林業部、林業研究センター及びきのこ振興センターにご相談ください。

○きのこを食べる時の注意事項

- ① 知らないきのこ、名前がわからないきのこは食べない
・毒きのこを食べると、最悪の場合は死に至ることもある
・食用目的ならば、疑わしい、知らないきのこは採らない
- ② 勘に頼って、「食用」と判断してはいけない
- ③ 食・毒についての迷信的な判別法や、毒消し法を信じない
- ④ 生食は避け、熱をしっかりと通すようにする
- ⑤ きんこは消化しにくいいため、食べ過ぎには注意する
- ⑥ きんこは生もの、腐ったものは毒きのこでなくとも中毒を起こすので食べない

原木舞茸研究所(川内村)の 生産再開に向けた取り組み

■相双農林事務所 富岡林業指導所
林業普及指導員 山田 誠

川内村は、阿武隈山系の中部に位置し、標高700～900mの起伏の多い山岳に囲まれた高原性盆地で、きのこの原木に適したコナラが身近にあることから、シイタケやナメコ、マイタケなどきのこの原木栽培が行われてきました。

原木舞茸研究所は、上川内の新妻一浩氏を中心に、原木マイタケ栽培（露地）を通じて、村内外に川内村の魅力発信すべく平成21年に発足した会です。マイタケほだ木の販売と会員個人による原木マイタケ販売が好評で、平成23年の秋から本格的な原木マイタケの生産・販売をスタートさせるべく、原木マイタケの生産数を増やすなど準備を進めていましたが、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響で、川内村全体が長期の避難生活を余儀なくされ、原木マイタケ生産も中断せざるを得ませんでした。

平成24年4月の帰村以降、生産再開に向け準備を進めておりますが、川内村産原木から基準値を超える放射性物質が確認されるなど、課題の多い状況が継続しています。

生産活動を再開して川内村本来の魅力を取り戻すとともに「今」の川内村の様子を村内外に発信したい、との考えから、困難な道のりではありますが、今年度より生産再開に向けた取り組みを富岡林業指導所と共同で実施することになりました。

生産再開に当たり一番の課題は放射性物質対策です。今回の取り組みは、ほだ木の汚染が子実体の汚染につながるという平成24年度に林業研究センターで行われた試験結果をもとに、野外ほだ場におけるほだ木の汚染源を、ほだ木と接する土壌、林内雨や落葉によるものと仮定して試験栽培を行うことにしました。（*1）

試験栽培箇所は、ビニールハウス内（外部からの影響を受けにくい箇所）、林内（外部からの影響を受けやすい箇所）、林縁部（前2つの中間的な箇所）の3箇所を選定しました。

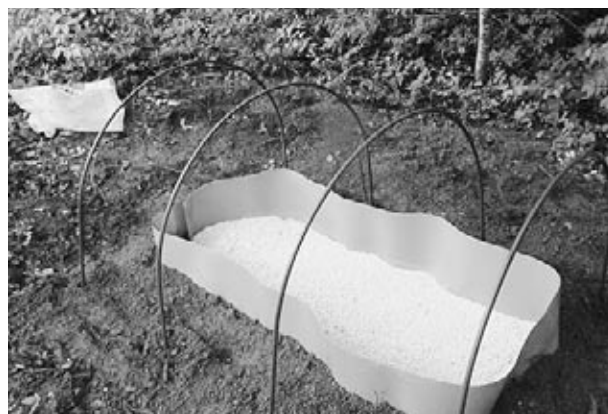
ほだ木は、平成22年（冬）に生産し室内に保管、平成24年に伏せ込みされたものを掘り出し水洗したもの（*2 ND）、土は購入土を（*2 ND）使用しました。伏せ込み方法は、まず、セシウムがほぼ検出されない深さ20cmまで堀込み（*3）、側方からの汚染を防ぐため四方側面に畦シートを立てました。底に購入土を5cm敷き、その上にほだ木を並べ、購入土で覆土しました。上にトンネルを組み、寒冷紗による覆いをかけます。寒冷紗は、地際まで垂らし、周囲に重しをのせて、落葉等が直接入らない状態としました。なお、側に降雨による放射性物質質量を確認するために雨水升を設置しました。

現在は、伏せ込みが終了した段階で、今後、各月の雨水の放射性物質質量を確認するとともに、子実体発生時に子実体、覆土、ほだ木の放射性物質質量を確認します。今年の結果をもとに、ほだ場の選定、資材確保の検討を行うとともに、次年度以降も継続して調査を行い、生産再開に向けて会の皆さんと検討していきたいと考えています。

- 参考文献 *1 県産きのこの放射性物質の挙動と対策に関する研究（2012年）
野外ほだ場におけるほだ木の放射性セシウム汚染（2012年）
*2 事前確認として林業研究センターで計測
*3 農林水産省 農地除染対策の技術書より



打合せ状況



伏せ込み状況

森連だより

森林施業プランナー
育成研修（前期日程）
を開催

いま日本の林業は、森林資源が循環利用を可能とする段階に入りつつある一方で、木材価格の長期下落傾向が続く中、林業従事者の減少や森林所有者の高齢化などの要因から、間伐等森林整備が適正に実施されず、土砂災害防止や水源涵養など森林の持つ多面的機能が十分に発揮できていない状況にあります。

森林を適正に管理し、林業を再生するためには、生産性の向上による低コスト林業の確立が必要となってきました。また、森林所有者一人あたりの所有面積が極めて零細であり、面的な森林管理のためには小規模森林所有者を含めた施業の集約化が重要となってきました。

福島県では林地の集約化を行い、森林所有者に代わって地域の森林を管理する重要な存在である「森林施業プランナー」の育成に力を入れることとしており、本会では昨年に引き続き、福島県の森林整備加速化・林業再生基金事業により、森林施業プランナーの育成研修（前期日程）



を実施しましたのでご紹介いたします。

今年の研修は、県内でも有数の林地である県南地区で七月二日～四日の三日間開催しました。講師には認定森林施業プランナーである群馬県多野東部森林組合の浦部秀一郎氏ほか、県内の各森林組合で集約化事業に取り組んでいる認定森林施業プランナー五名によりこの研修を実施しました。

ルネサンス棚倉を会場に、集約化の意義、プランナーの役割等を学んだほか、各講師による集約化事業の取組事例の発表が行われました。発表では事業実施の上で直面した問題や苦労した点などの実体験談を聞くことが出来たほか、研修生からも自ら集約化事業で直面している課題・問題等についての質問が出るなど活発な意見交換が行われました。

また、棚倉地区の集約化施業地を視察し、路網の設置状況や作業システムなどを学びました。

後期研修は九月十七日～十九日に開催する予定で、プラン書の作成手



現場視察風景

法を学び、実際に集約化予定地の現場で調査を実施します。調査データを基にプラン書の作成、その後模擬座談会を行い、提案型集約化施業の一連の流れを学ぶ予定です。

これまで福島県で実施してきた研修等で約六〇名（全国では約二一〇名）の方々が森林施業プランナーの業務について学んできました。

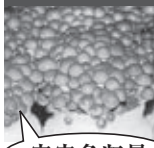
そして昨年、プランナーの資格認定制度が創設され、第一回目の試験を経て初の「認定森林施業プランナー」が誕生し、本県でも十二名が認定を受けました。認定制度がスタートしたことにより、これまで曖昧であったプランナーという役割が明確化され、プランナーに求められる能力がこれまで以上に高いものとなります。本プランナー研修の実施により、新たなプランナーの養成・充実につながることを願っています。

きのこで地域を元気に

(公社)福島県森林・林業・緑化協会
きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

福島N1号



安定多収量

福島N2号



大型・滑り少

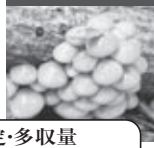
●原木栽培用ナメコ(登録品種)

福島N3号



コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富

福島N4号



○その他各種種菌

○菌床 ・シイタケ
・ハタケシメジ
・ムラサキシメジ等

○マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org

団体のページ

福島水源林整備事務所だより

野生動物による 造林木の皮剥被害を トレイルカメラで観測する

(独)森林総合研究所森林農地整備センター
福島水源林整備事務所

森林農地整備センター福島水源林整備事務所が管轄する造林地で、近年多発している動物による造林木の皮剥（かわはぎ）被害について、当事務所での取り組みを報告いたします。

当事務所管内の造林地は、県内全域に分布していますが造林木の皮剥被害が確認されたのは、主に会津地方（湖南・磐梯熱海含む）及び中通り北部です。

読者の皆さんの造林地でもこのような被害が確認されているとは思いますが、この被害は痛ましい事に、良質な木からアタックされる傾向にあります。願わくば間伐対象となる木からアタックしてくればありがたいのですが…。

被害に遭う樹種としましては、主にスギです。まれにカラマツが南会津の一部で確認されます。このような皮剥被害を防ぐため、当事務所では、

は、ロープ巻、バークガード、サブリガード等、様々な方法を実施し、造林者の方々と一緒に試行錯誤しているところでもあります。

さて、このような被害を及ぼす動物は、いったい何だと思えますか？当事務所では初め、皮剥被害の痕跡から全てツキノワグマによるものだと思っていました。しかし、南会津のある造林地では、これはニホンジカだ。いやカモシカだ。と地元造林者が様々な見解を示してきます。確かにその造林地では、シカの糞がいたる所で確認されます。

そこで当事務所としましては、被害を及ぼす動物を特定し適切な防除を実施するため、これはもう定点カメラで動物を撮影し観測するしか無い。と考え、野生動物撮影用カメラ（通称トレイルカメラ）を購入し、

今年の四月中旬にその造林地に設置いたしました。

このカメラは動く物に反応し一瞬間隔でコマ送りの写真が撮影されるので、動物の行動が流れるように把握できます。また夜間撮影も可能なため、夜の行動も把握できます。まだ樹皮を剥いている様子は撮影できていませんが、どのような動物が、どのような被害を及ぼすのかを特定

したいと思えます。今現在の撮影状況は、ニホンジカが大量に撮れており、たまにカモシカも撮影されています。ただツキノワグマは一枚も撮影されていなく、どうやら犯人は絞られてきたみたいです。

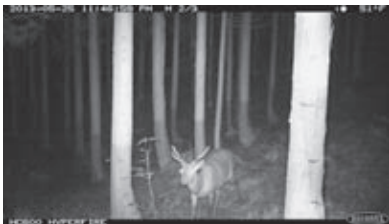
これからは観測を続け、各々の動物に対する防除方法の有効性を確認して行き、その他、経済性・施工性等も考慮に入れ、より良い防除方法を確立して行きたいと思えます。



カモシカ退散



カモシカの様子



夜でも鮮明 ニホンジカ



赤銀テープを嫌がり



トレイルカメラ

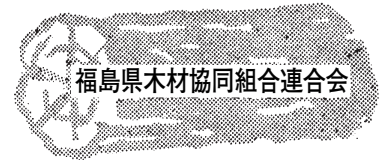
カメラ機種
RECONYX HYPERFIRE HC600



被害状況

木連だより

木造住宅を建築すると地域の農林水産品と交換可能なポイントが付きます



林野庁「木材利用ポイント事業」

七月一日から木材利用ポイント発行・交換の受け付けがスタートしました。杉、ヒノキなどの地域材を使つて家を建てたり、リフォームをしたりするとポイントがもらえます。（二ポイント一円相当です。）

一、ポイントの付与対象

木材利用ポイント事務局に登録された事業者が工事または製造する以下のものです。

（一）木造住宅の新築・増築又は購入

一棟あたり三〇万ポイント。特定被災区域の住宅であつて全壊等と認定された場合は五〇万ポイント。平成二五年四月一日〜二六年三月三十一日に工事に着手し、杉、ヒノキなどの地域材を基準以上利用するなどの条件を満たしている必要があります。

（二）住宅の床、内装及び外壁の木質化工事

工事の内容、規模に応じてポイントが付与されます。最大三〇万

ポイント。また、平成二五年四月一日〜二六年三月三十一日に工事に着手していることなどが条件となります。

（三）木材製品、ペレットストーブの購入

木材利用ポイント事務局に登録されており、平成二五年七月一日〜平成二六年三月三十一日までに購入されたものが対象。ポイントの発行数は製品ごとに異なります。登録された製品は全国事務局ホームページから検索できます。

二、交換できる商品等

地域農林水産品、体験型旅行、全国型商品券・プリペイドカード・地域型商品券、即時交換（木材利用ポイントの発行対象となる工事により取得したポイント）を、当該工事をを行った登録事業者が当該工事と一体的に実施する別の木材を使用した工事等の代金に充当すること。

三、ポイントの発行・交換申請方法

申請書を木材利用ポイント事務局ホームページから入手、作成し、添

付書類とともに申請窓口を持参するか、全国事務局に郵送。木材製品、ペレットストーブの購入によるポイント申請は全国事務局への郵送のみ受付となります。ポイントの申請期限は平成二六年七月三十一日までとなっていますが、ポイントの発行額が予算額に達した場合には、ポイント申請の期限前であっても終了となります。

福島県内の申請窓口

申請窓口	所在地	電話番号
福島県木材協同組合連合会	960-8043 福島市中町5-18（林業会館2階）	024-523-3307
福島県建設労働組合連合会	969-1302 安達郡大玉村玉井字北ノ内65-1	0243-68-2121
福島建設ユニオン	960-8011 福島市宮下町11-31	024-535-2845
飯坂建設組合	960-0211 福島市飯坂町湯野字暮坪前4-20	024-542-7809
全建総連本宮	969-1301 安達郡大玉村大山字六社山43	0243-48-3545
全建総連二本松	964-0906 二本松市若宮二丁目154-4	0243-22-6800
郡山建設組合	963-8878 郡山市堤下町9-13	024-922-8051
富久山建設組合	963-8071 郡山市富久山町久保田字久保田93	024-933-5560
全建総連田村	963-4312 田村市船引町船引字南町通151-2	0247-82-5560
須賀川建設組合	962-0031 須賀川市影沼町229	0248-75-1669
東白川建築組合	963-6121 東白川郡棚倉町大字花園字鹿子山72-3	0247-33-8926
全建総連会津	965-0836 会津若松市館脇町4-14 小金井ビル1F	0242-29-3288
いわきウイング建設組合	970-8026 いわき市平字三倉36-2	0246-23-8807
全建総連原町	975-0041 南相馬市原町区下太田字小原29-9	0244-23-4753
相馬建設労働組合	976-0042 相馬市中村字川原町65-1 児童センター内	0244-36-6957

福島県「森と住まいのエコポイント事業」

八月一日からは福島県が独自に実施する「森と住まいのエコポイント事業」が始まります。一定の要件を満たして建設（新築・増築・購入）される木造住宅に農林水産品等と交換可能なポイントを交付します。（一般向け二〇万ポイント、被災者、避難者向け三〇万ポイント）林野庁「木材利用ポイント」との併用も可能です。

一、交付の要件

以下を満足することが要件となります。

- ・福島県内に自ら居住するための木造住宅であること
- ・施工業者の主たる営業所は福島県内にあること
- ・平成二五年四月一日以降に着工していること
- ・主要構造材（柱・梁・桁・土台）及び間柱（厚さ二七ミ以上）において一定量以上の福島県産木材を使用していること

二、申請期間

予算の範囲内で申請を受け付けます。

- ・平成二五年八月一日〜平成二六年二月二十八日
- ・木造住宅の建築等の完了日以降の申請となりますが先着順で受け付けですので、予算がなくなり次第終了します。

三、申請方法

福島県建築総室ホームページまたは県木連のホームページから申請書を手・作成し、県木連あてに郵送、又は持参してください。

木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(5月15日現在)

(単位: m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~9)	0	(0~0)	0	8 (6~9)	0	8 (6~9)	0
		10~13		並	スギ	10 (9~11)	0	9 (9~9)	0	9 (8~10)	0	10 (8~11)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	11 (10~13)	△1	11 (11~11)	2	10 (9~11)	0	11 (9~13)	0
				並	ヒノキ	14 (13~15)	△1	(0~0)	0	14 (13~15)	2	14 (13~15)	0
		6.00	並	スギ	17 (15~19)	0	8 (8~8)	0	15 (14~15)	0	15 (8~19)	0	
			並	ヒノキ	26 (24~28)	0	(0~0)	0	21 (16~26)	△2	23 (16~28)	△1	
	20~28	3.65	並	スギ	12 (11~14)	0	11 (10~13)	0	10 (9~12)	0	11 (9~14)	0	
		4.00	並	アカマツ	11 (8~13)	0	(0~0)	0	9 (8~9)	0	10 (8~13)	0	
		1.80	並		7 (5~8)	0	(0~0)	0	6 (3~8)	0	6 (3~8)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	26 (26~26)	1	(0~0)	0	25 (21~28)	1	25 (21~28)	0
並				米マツ	29 (28~29)	1	26 (26~26)	0	26 (24~29)	0	27 (24~29)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	25 (23~26)	0	25 (23~26)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	30 (26~34)	0	30 (26~34)	0	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
				並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
パルプ用材	-	-	並	マツ	4 (4~4)	0	(0~0)	0	3 (3~3)	3	4 (3~4)	0	
			並	広葉樹	5 (5~5)	0	(0~0)	0	6 (6~6)	6	6 (5~6)	1	

四月の原木市場への入荷状況は、前月比四割減(前年比五割増)の二五、一五〇立方メートルとなっている。
 販売量については、前月比二割減(前年比八割増)の二五、〇一六立方メートルとなっている。
 五月の価格について、全体として保合である。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

また、鉄刀、弓などの武器、馬具の鉄製鐙(あぶみ)や青銅製の飾り金具類、琥珀製の棗玉(なつめだま)、メノウ製の曲玉などの装飾品、土器類(現在の東海地方で焼かれた食器)など多くの副葬品も出土しました。これら副葬品は、当時としては高い加工技術が必要とするものが



餓鬼堂横穴郡の発掘調査について

いわき農林事務所
 森林林業部森林土木課長 平野尚巳

餓鬼堂地区は、いわき市薄磯字鬼堂・北ノ作地内にあり、薄磯海岸の北に突き出た丘陵の東端に位置しています。平成十七年度から山腹工事を行い、施行地内の標高二〇メートル前後の崖の中腹から、古墳時代(約一三〇〇年から一四〇〇年前)の横穴墳墓が発見され、昨年度までに三九基を発掘調査しています。

これまでの調査で、天井が屋根のような形(家型)に作られ、朱色の顔料で装飾されたものが二基発掘されたほか、昨年度調査した墳墓からは、木製の棺が二基並んで見つかり、木棺に使用された木片も確認されました。県内初の出土として注目を集めました。

多く、中央政府から授けられたものと考えられています。副葬品から想像するに埋葬された主は、中央政権とかなり強い結びつきを持つていた方で、この地を治めていた有力者であるようです。

また、鉄刀、弓などの武器、馬具の鉄製鐙(あぶみ)や青銅製の飾り金具類、琥珀製の棗玉(なつめだま)、メノウ製の曲玉などの装飾品、土器類(現在の東海地方で焼かれた食器)など多くの副葬品も出土しました。これら副葬品は、当時としては高い加工技術が必要とするものが

餓鬼堂地区の周辺には、国指定史跡の中田装飾横穴をはじめ腰巻横穴郡などの古墳が数多く確認されています。これらの多くは、公共土木工事の実施において発見・調査され、貴重な歴史解明の資料となっています。言わずと知れたことですが、古墳は、古の様子を伝える「タイムカプセル」です。ときにこれらの出土品を見て古の人たちの生活を想像してみても楽しいものです。



発掘調査で出土した装飾品(曲玉3点、切子玉2点)

表紙の写真



「カブト虫の気分」

第9回ふくしま森林・林業写真コンクールで佳作となった水口由香さん（いわき市）の作品



「拝啓 ヒマラヤシダー殿」

自宅前の小学校校門脇に、樹齢五〇年近いヒマラヤシダーが一本植えてあった。枝が水平に広がり、きれいな円錐形をしていた。鉛筆で紙に樹皮をなぞると、細かい鱗片は模様となり、等高線のようにも見えた。夏の暑い日差しから逃れる時にはヒマラヤシダーの傘の下に涼を求めた。それは、木下闇とは違う西洋絵画的な明るい「緑陰」であった。そして心地よく漂う空気と風は、まるでヒマラヤシダーから生まれてきたようだった。ところが、今から三〇年前、木造校舎からコンクリート校舎への移築工事に伴い、風雪に耐えながらも、天へ真っ直ぐに伸びていたヒマラヤシダーは、根こそぎ採られてしまった。

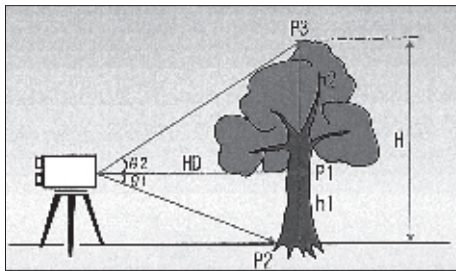
内海隆一郎著「木に挨拶をする」の中で、散歩途中の老人が毎朝ざくろの大木を撫でて、「おはよう」と声をかけていたら、不思議とリュウマチが起こらなくなったこと。事の始めは、ざくろの声なき声に呼びとめられ、立ち止まるようになったことなどが書かれていた。その瞬間、あのヒマラヤシダーを思い出した。（私は一度も声をかけることも撫でることもしなかったではないか…）たくさんの人に愛でられた木には、木の霊が宿るといふのに。もう一度、あのヒマラヤシダーに会うことができたら、最初に、私は何と語りだせばいいだろう…。

（都）

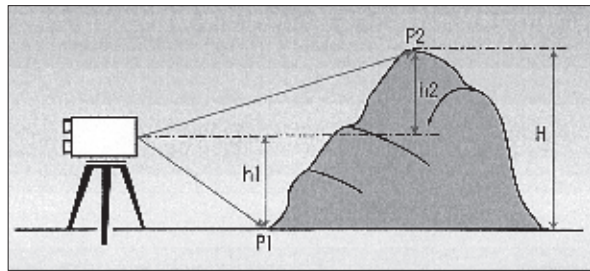
編集 福島県内四森林管理署
 福島県森林・林業・緑化協会
 福島県森林組合連合会
 福島県木材協同組合連合会
 福島県農林種苗農業同組合
 福島県農林業公社
 森林総合研究所福島水源林整備事務所
 福島県森林・林業・緑化協会
 （福島市中町五番一八号県林業会館内）
 発行 相馬 雅俊
 発行人 陽光社印刷株式会社
 （定価 一〇五円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

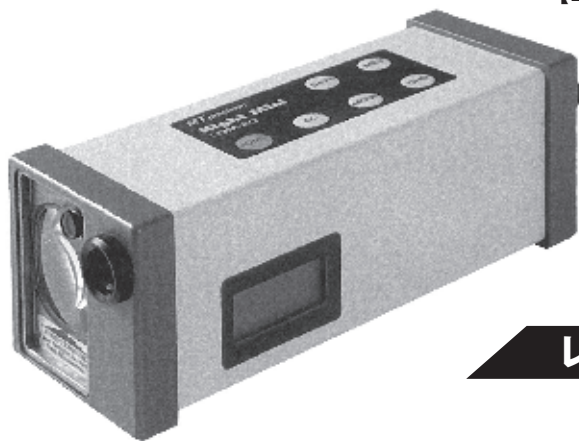


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



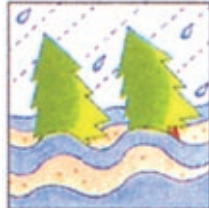
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



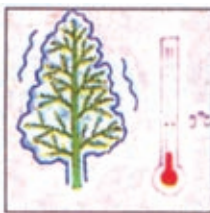
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

**野生獣類から大切な
植栽木を守る**

ヤシマレント

蜂さされ防止

ハチノックL (巣退治)
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る
住化グリーンの林業薬剤**

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)



住化グリーン株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号 TEL.03-3523-8070 FAX.03-3523-8071
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

チッパーシュレッダ



竹もOK!
SR3000-2
出力 22.3kW (質量1,330kg)
水冷ディーゼル
X379301020
¥3,543,750(税込)

プロソー



GZ3900EZ
排気量 39.1cm³ (質量4.4kg)
RSP 21BPX 967159403 ¥113,400(税込)
95VPX 967159303
HS 25AP 967159104
91VXL 967159204
HM 21BPX 967159404
95VPX 967159305



GZ4300EZ
排気量 43.1cm³ (質量4.4kg)
45cm(18")
RSP 21BPX 967160502 ¥140,385(税込)
95VPX 967159902
HM 21BPX 967160504
95VPX 967159904

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1